

## 前回委員会における需給・価格見通しと実績の対比

1. 前回の委員会（平成 22 年 11 月 4 日）で示した冬キャベツの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月下旬時点）	備 考
冬キャベツ (11~3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積は全体的に前年をやや上回る。</li> <li>・生育状況は干ばつの影響で序盤の定植が遅れたものの、生育は総じて順調。</li> <li>・出荷量は、千葉、神奈川が当面平年を下回るが、12月には回復する見込み。</li> <li>・価格は、前年を下回って推移するが、愛知が本格化する2、3月以降一段の低下の可能性もある。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>11月は、千葉、茨城産が夏の干ばつの影響で生育が遅れたため、前年より大幅に入荷減となり、12月も、愛知、千葉産が夏の干ばつの影響で入荷減となつたが、1月は愛知産が回復したため入荷増となり、2月は、千葉県産が低温少雨の影響で小玉傾向となつたが、千葉産の出荷増により前年並みとなつた。</p> <p>期間全体としては、前年をかなり下回つた。</p> <p>(11月～2月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：9.4)</p> <p>(価格)</p> <p>11月は、大幅な入荷減から、価格が高騰したが、12月に入り入荷が回復基調となつたことから、価格も12月下旬から前年に近い水準に回復し、2月はやや高めで推移。</p> <p>期間全体としは前年を大幅に上回つた。</p> <p>(11月～2月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：14.9)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

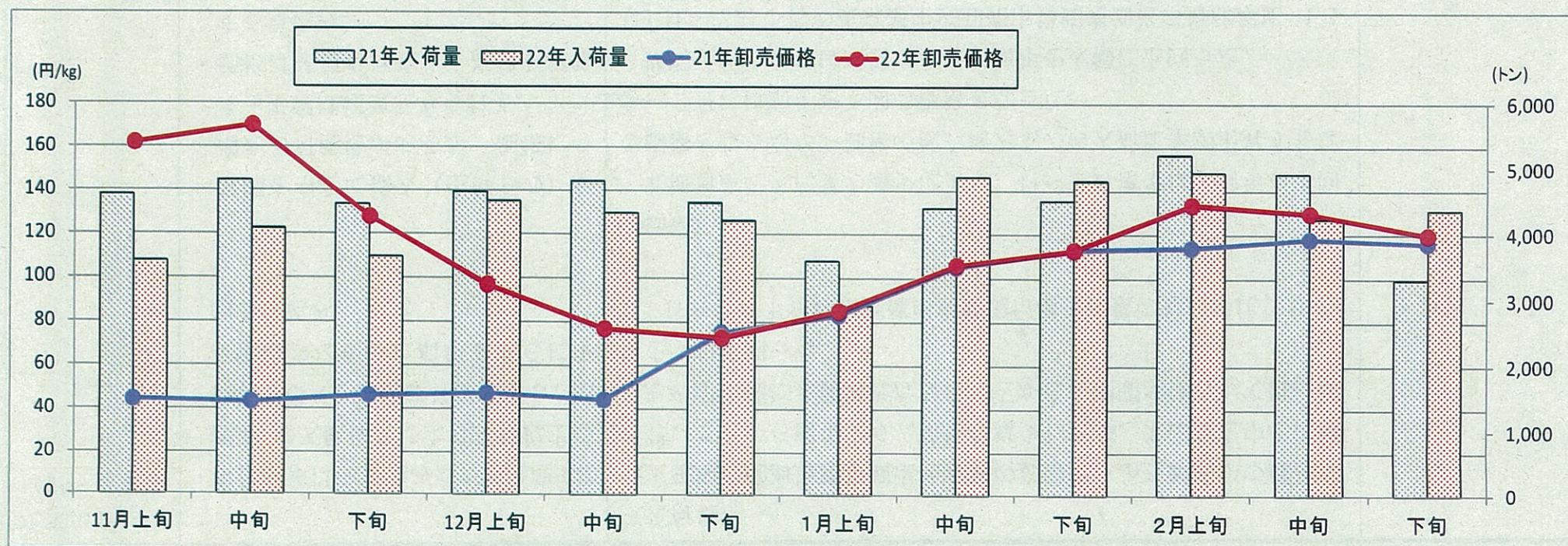
(参考1)

○22年産冬キャベツの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	78	85	82	97	90	94	81	111	107	95	86	132	94
価 格	368	395	278	206	175	97	102	101	100	118	110	103	149

(参考2)

○ 22年産冬キャベツの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



2. 前回の委員会（平成 22 年 11 月 4 日）で示したたまねぎの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月下旬時点）	備 考
たまねぎ (11～4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積は前年並みだが、産地（北海道）の天候異変により平年以上のロスが多く、歩留まりが低下し、出荷量は少なかった前年をさらに下回る見込み。</li>   <li>・米国を中心に輸入（生鮮もの）が増える可能性があるが、価格に与える影響は軽微とみられる。</li> <li>・価格は品薄を反映し、高値が継続する見込み。</li> </ul>	<p><b>(入荷量)</b></p> <p>主産地の北海道産が高温・多雨の影響で、小玉傾向かつ成品率が悪いことから前年より入荷量が減少したが、米国産を中心に輸入ものが大幅に入荷増となったことから、期間全体としては、前年をやや下回った。</p> <p>(11月～2月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：97)</p> <p><b>(価格)</b></p> <p>北海道産の入荷量の減少により、11～1月までは、前年を下回る価格となったが、価格の低い輸入ものの入荷比率が上昇するなか、2月には前年を下回る価格となった。</p> <p>期間全体としては高値であった前年を大幅に上回った。</p> <p>(11月～2月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：118)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

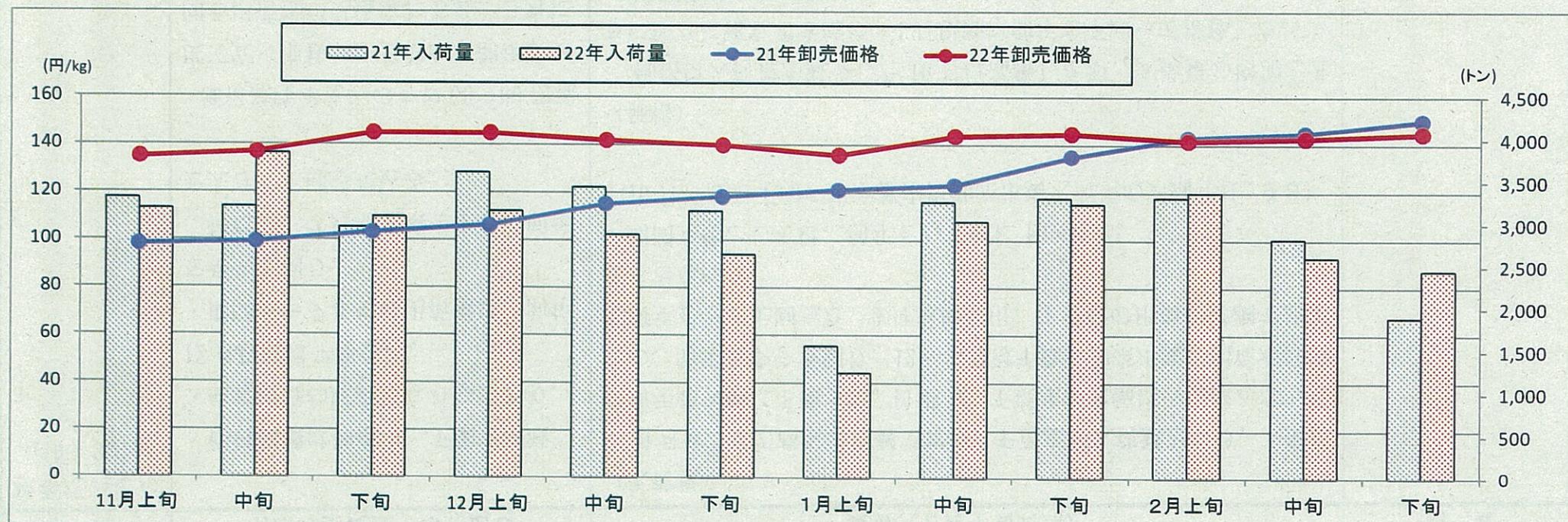
(参考1)

○22年産たまねぎの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	96	120	104	87	84	84	80	93	98	102	92	129	97
価格	138	138	141	137	123	119	112	117	107	99	99	97	118

(参考2)

○22年産たまねぎの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



3. 前回の委員会（平成 22 年 11 月 4 日）で示した秋冬だいこんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月下旬時点）	備 考
秋冬だいこん (10~3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積は神奈川、千葉で微減。</li> <li>・生育は概ね順調になりつつあり、12月以降は平年並み。</li> <li>・期間トータルでの出荷量は、前年をやや上回り、特に2、3月は千葉を中心に前年を大きく上回る見込み。</li> <li>・価格は昨年並みのキロ60~80円程度で安く推移し、千葉から前年を上回る出荷量が見込まれる2、3月にはさらに前年を下まわる水準となる可能性もある。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>10月は、夏の高温の影響で青森、千葉産が入荷減となり、入荷量が前年を大幅に下回った。11月は、千葉産が大幅に入荷減となったため、前年をやや下回り、12~1月は千葉、神奈川産の出荷が好調で前年をやや上回った。2月も神奈川、千葉産の出荷が好調で前年並みとなった。</p> <p>期間全体としては、前年をわずかに下回った。</p> <p>(10月～2月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：9.8)</p> <p>(価格)</p> <p>価格は入荷量が減少した10月は高騰したが、入荷量の増加とともに序々に落ち着き始め、1月以降は前年を下回って推移した。</p> <p>期間全体としては前年を大幅に上回った。</p> <p>(10月～2月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：1.23)</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

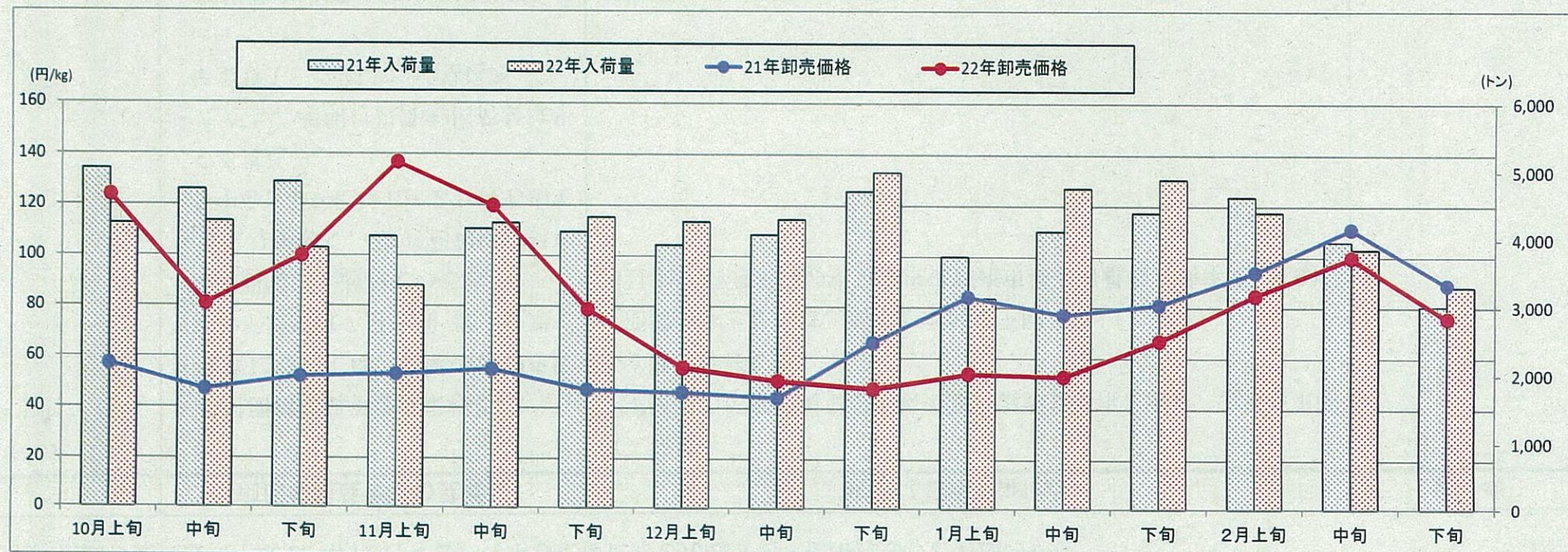
(参考1)

○22年産秋冬だいこんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指數、東京都中央卸売市場）

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	84	90	80	82	102	105	109	106	106	83	115	111	95	97	109	98
価格	218	172	192	258	218	168	122	116	73	64	69	83	90	90	85	123

(参考2)

○22年産夏だいこんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



4. 前回の委員会（平成 22 年 11 月 4 日）で示した冬にんじんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月下旬時点）	備 考
冬にんじん (11~3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積は前年を下まわる。</li> <li>・生育については、猛暑の影響を受け、千葉では 7 日～10 日、愛知では 1 週間以上遅れている。</li> <li>・玉太りが悪く、12 月初旬は、M・S 中心、下旬には L・2L 級も出てくる見込み。</li> <li>・ただし、年明け以降も出荷量は平年より 1、2 割少ない見込み。</li> <li>・価格は、12 月中旬までは前年を 1 割程度上回って推移し、上位等級が出回る 12 月下旬には更なる上げもありうる。</li> <li>・年明けに、生育が遅れた分が集中し、若干の下げの可能性はあるものの、徳島産が出荷される 3 月までは高値で推移する見込み。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>主産地の千葉や埼玉が天候不順の影響で不作となり、前年を下回る水準で推移した。</p> <p>期間全体としては、前年をかなり下回った。</p> <p>(11 月～2 月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 8.9)</p> <p>(価格)</p> <p>主産地の千葉や埼玉の入荷減の影響から、前年を大幅に上回る水準で推移し、期間全体としても、前年を大幅に上回った。</p> <p>(11 月～2 月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 1.69)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

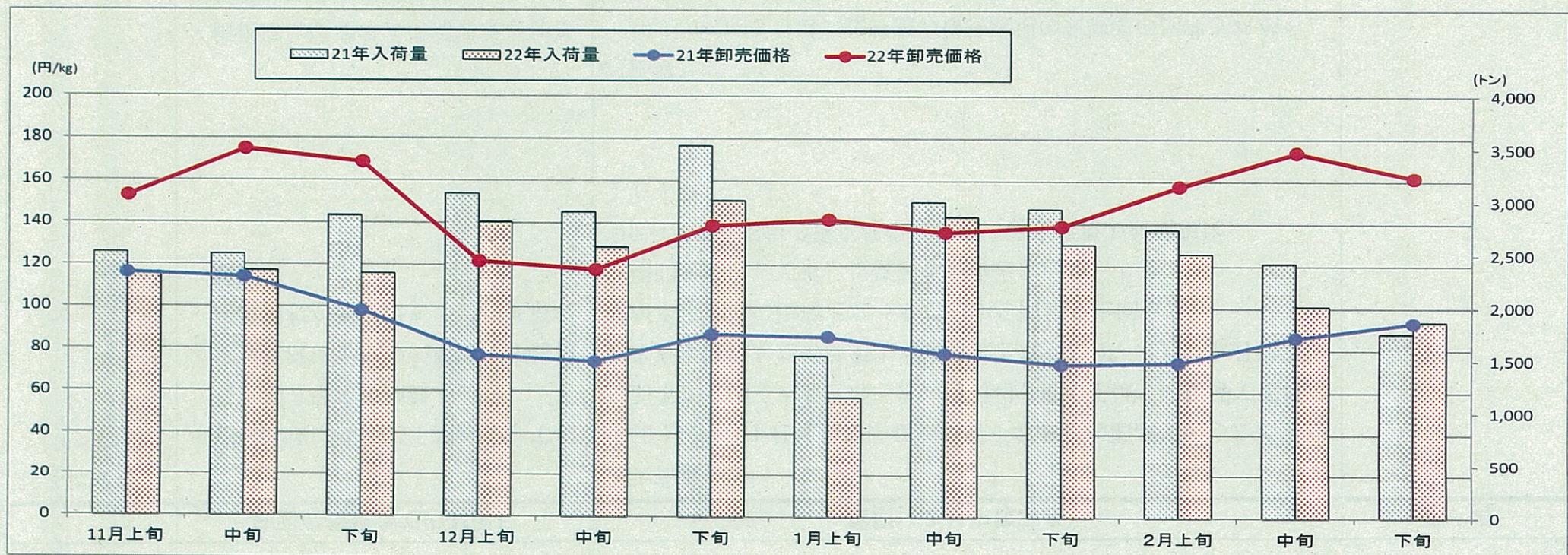
(参考1)

○22年産冬にんじんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬										
入荷量	92	94	81	91	89	85	74	95	89	92	83	106	89
価 格	132	154	172	158	159	160	165	174	190	214	202	174	169

(参考2)

○ 22年産冬にんじんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. 前回の委員会（平成 22 年 11 月 4 日）で示した秋冬はくさいの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月中旬時点）	備 考
秋冬はくさい (10~3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積は愛知が 1 割減少しており主要 3 県では微減。</li> <li>・生育状況は干ばつの影響で序盤の定植遅れがあったものの現在概ね順調。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格は、国産キムチ需要など加工需要が強く堅調に推移。</li> <li>・12 月には、寒波による鍋需要の増加も見込まれることから一段上げの可能性もありうる。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>10 月から 11 月は長野県産が生育がおおむね順調であったことから前年を上回る入荷となった。12 月は、夏の干ばつの影響で茨城産の生育が後れたため前年より入荷減となったが、1 月、2 月は茨城産が平年並みの出荷となったことから前年を上回った。</p> <p>期間全体としては、ほぼ前年並みとなった。</p> <p>(10 月～2 月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 101)</p> <p>(価格)</p> <p>10 月から 11 月は、長野産の後続産地の茨城産の出荷遅れから、高値の反動で値を下げた時期もあるもののおおむね高値基調で推移し、茨城産の出荷回復とともに 1 月までは下落基調で推移した。</p> <p>期間を通して安値であった前年を大幅に上回り、期間全体としては前年を大幅に上回った。</p> <p>(10 月～2 月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 168)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

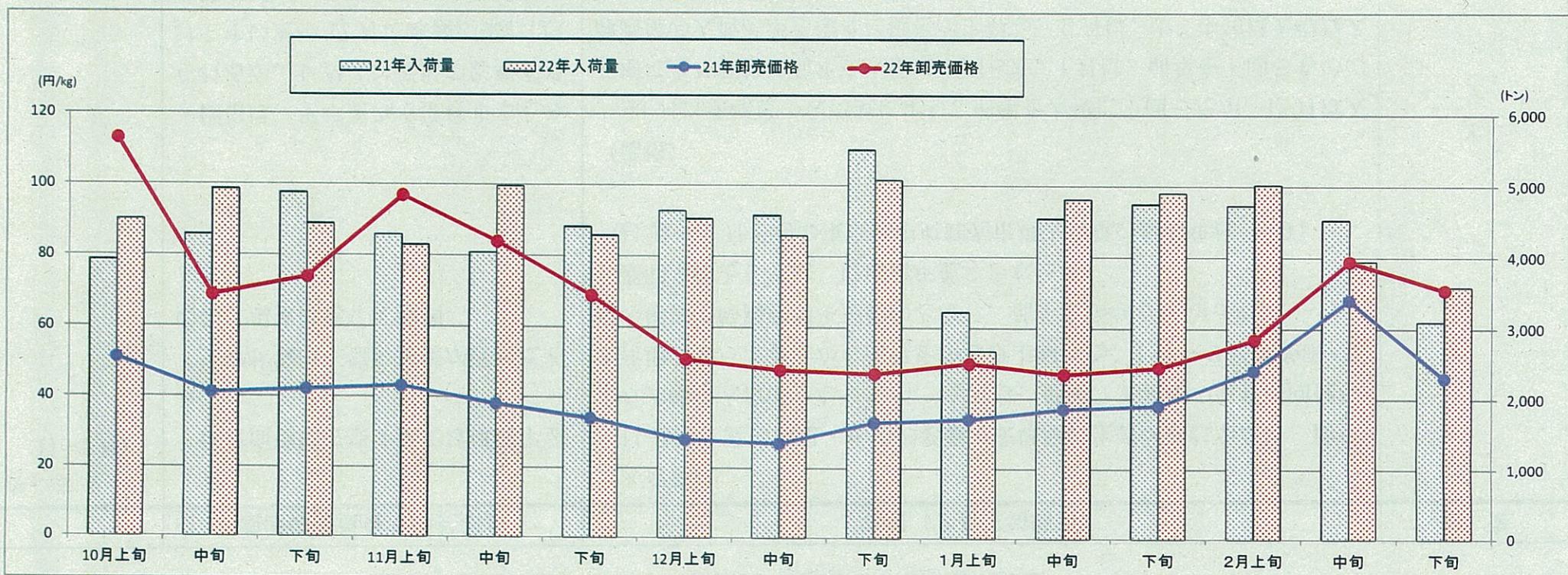
(参考1)

○22年産秋冬はくさいの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬													
入荷量	115	115	91	97	123	97	98	94	92	83	106	103	106	87	116	101
価格	222	168	176	226	221	203	182	178	142	147	127	129	119	116	154	168

(参考2)

○22年産秋冬はくさいの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



## 6. 前回の委員会（平成 22 年 11 月 4 日）で示した冬レタスの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月下旬時点）	備 考
冬レタス (11~3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積は主要 4 県でほぼ前年並み。</li> <li>・生育状況は序盤の定植が遅れたものの、現状は総じて順調。</li>   <li>・価格は、平年並みで推移するとみられるが、レタスは低温の影響を受けやすいため 12 月に寒波が来れば供給も減って価格が上昇することもありうる。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>11 月は、夏の高温・小雨の影響で茨城産の生育が遅れたため、前年より大幅に入荷減となったが、12 月は、静岡、茨城産の生育が回復し入荷増となったことから前年をかなり上回った。1 月～2 月は多雨・低温の影響で静岡産が小玉傾向となり、前年をかなり下回った。</p> <p>期間全体としては、ほぼ前年並みとなった。</p> <p>(11 月～2 月下旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 99)</p> <p>(価格)</p> <p>11 月は茨城産の入荷減により、前年を大幅に上回ったが、12 月は入荷増により価格は前年を大幅に下回った。1 月は、前年を下回るもの静岡産の入荷減から徐々に価格が上昇し、2 月は、上・中旬は大幅な入荷減から前年をかなり上回って推移した。</p> <p>期間全体としては、前年並みとなった。</p> <p>(11 月～2 月下旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 100)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1)

○22年産冬レタスの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	88	90	106	125	104	111	83	109	91	83	82	127	99
価 格	172	260	128	83	76	63	70	82	100	132	113	92	100

(参考2)

○ 22年産冬レタスの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）

